

令和5年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市心身障害児通園施設「しいのみ学園」		所管課 TEL	こども福祉課 33-4767					
所在地	松本市双葉4番16号		設置年月	昭和46年4月					
施設設置目的	心身障がい児に対し、母子通園・単独通園により、療育相談や生活訓練を行い機能回復を図る。								
施設概要・設備	松本市総合社会福祉センター1階 259.19㎡								
指定管理者名（選定方式）	社会福祉法人 松本市社会福祉協議会（特命）								
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5か年）								
指定管理者の 主な業務	障がい児の相談及び指導、障がい児の療育及び訓練、送迎車両の管理及び運行								
利用料金制の導入	あり 利用料金制（独立採算）								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（%）	対前年比（%）				
	児童発達支援利用延べ人数	1,700	1,337	78.6	103.2				
	放課後等デイサービス利用延べ人数	100	196	196.0	94.2				
	（特記事項）児童発達支援利用者平均5.8人/日（放課後等デイサービス平均0.8人/日）								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和5年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和5年度決算		令和4年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	0	指定管理料	0	指定管理料		指定管理料	
		事業収入	21,977,000	事業収入	21,946,291	国庫補助金	10,778,280	国庫補助金	10,799,238
		県費補助金	413,000	県費補助金	401,334	県費補助金	5,389,140	県費補助金	5,399,619
	市費補助金	144,000	市費補助金	132,000					
	繰越金	843,000	繰越金	843,442					
	自主事業収入	284,000	自主事業収入	293,290					
	雑収入等	95,000	雑収入等	99,800					
拠点区分間繰入金収入	1,644,000	拠点区分間繰入金収入	1,644,000						
計	25,400,000	計	25,360,157	計	16,167,420	計	16,198,857		
支出 （歳出）	人件費	21,576,000	人件費	20,978,324					
	事業費	907,000	事業費	833,768					
	事務費	2,474,000	【内訳】 ・保健衛生費・教養娯楽費						
	負担金	1,000	・燃料費・消耗器具備品費・保険料・						
	固定資産取得支出	140,000	車両費・雑支出						
拠点区分間繰入金支出等	302,000	事務費	2,093,413						
予備費	0	【内訳】 ・福利厚生費・諸謝金・旅費							
		・研修費・消耗品費・印刷製本費・修繕費							
		・通信費・委託費・手数料・負担金							
		負担金	700						
		固定資産取得支出	140,000						
		拠点区分間繰入金支出等	300,900						
計	25,400,000	計	24,347,105	計	0	計	0		
損益	0		1,013,052	差引	16,167,420	差引	16,198,857		
（特記事項）									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準		
A	(1.0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7)	事業計画書(提案書)どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5)	事業計画書(提案書)どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分を確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0)	不適切な部分を確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
69.6

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	A	公平性が確保されており、利用を必要とする児童が利用できている。アンケートからも問題は見られない。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	労働条件モニタリングチェック項目により確認したところ、業務従事者の適性な労働条件は確保されている。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	関係機関への連絡方法等が整備されており、組織的に対応できる仕組みが整っている。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	日々の職員ミーティングで対象児童の心身の状況を共有しヒヤリハット事故発生防止に取り組んでいる。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	利用契約書の中に個人情報の保護が明記されており、また電子データの管理も法人全体で対策に取り組んでいる。
情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	法人本部を含め複数の職員で経理を管理。決算情報は公開しており、監査請求に対処できる内容になっている。	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	法人の損益計算書に損失が出ているが、利用者増加に向けた取り組みを実施し昨年度よりも利用者は増えている。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	同一の建物内に法人本部がある。また医療・福祉の様々な専門資格を有する職員が配置されていて支援体制は確立されている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画であり、適切に計画が履行されている。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市とは相互に連絡がとれ情報共有が図られている。また協力医療機関等とも必要時連携がとれている。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	勤務表や実績報告書にて、利用者数に対して配置基準を満たす職員配置がされていることを確認した。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	園長が専門資格を有しており、別に児童発達支援管理責任者を配置することで、役割を明確にし、指揮系統が適切な状態となっている。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	A	育児中の職員が時短勤務を選択できる体制ができています等、働き方改革に取り組んでいる。
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	A	計画的な研修の成果により、アンケートの「職員の専門性は適切か」で「はい」が87.5%であった。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	複数の職員によって会計処理の確認がされた後に、支払いが行われているため問題はない。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	市の要求水準内の施設管理業務のなかで第三者へ委託する業務はない。水準を超えるものは法人が一括し委託している。
17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか		3	B	事業ごとの事業内容、利用実績が分かる報告書を提供月の翌月に適切に提出されている。	
安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	救急法、心肺蘇生法、AED操作講習の実施を計画的に行い、職員の教育をしている。安全計画も作成済み。	
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回・清掃等適切に行われており、管理区域や事業範囲についてほぼ的確に把握できている。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	A	施設設置目的を把握した運営によりアンケートで「今後も利用したか」で「はい」が100%であった。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	事業量が適切に実行されており、アンケートでは年間開園日数について「現状で良い」との回答が100%であった。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	法人として地域住民や団体との連携に取り組んでいる。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	B	施設利用対象児童が限定されるため利用率の向上とはなりにくいですが、利用希望に対しては基準範囲内で受入を行ってきた。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	活動プログラムを固定化しないよう配慮をしておき、アンケート回答でも「工夫されている」が93.75%であった。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	A	施設の特性から障がい児に配慮した管理がなされている。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	A	毎月行っている個別懇談会で利用者からの要望等を聞きとり、併せてアンケート調査を実施し業務改善に取り組んでいる。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	毎月の実績報告書提出、年1回の自己評価結果の公表の実施にてセルフモニタリングを適切に行っている。
環境への配慮	28 エネルギー削減等の具体的な目標を定め、その達成に向けて取り組んでいるか	2	B	省エネルギー・省資源・事務用紙等の廃棄物削減など環境への配慮に積極的に取り組んでいる。	
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	役割分業による業務の効率化に積極的に取り組んでいる。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか(又は、利用者を確保できたか)	4	B	事業に関する支出は事業計画書の範囲内。年間の利用数は昨年度より増加したが加算の関係で収入は見込みより若干少なかった。

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和6年2月26日から令和6年3月15日
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙配布し、施設内の回収箱で回収。
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和5年度の 自己評価	<p>○小児にもコロナウイルス感染症が拡大し又、多種多様（RSウイルス・アデノウイルス・ノロウイルス等々）な感染症が全国的に広がった中で、単発な感染は見られたものの、集団感染を引き起こす事なく一年間の事業を滞りなく行うことができた。</p> <p>○前年度3名の児童が卒園し在籍11名からのスタートとなったが、新規入園児の受け入れにより8月には在籍数が15名となったこと、又複数の児童が年間を通じてコンスタントに登園できたことで登園数は前年度より増加した。</p>
要望・苦情への 対応状況	<p>しかしながら、医療連携体制加算をとれる児童が複数人長期入院・体調不良等で欠席があり、医療連携体制加算をとることができなかったことが減収につながった。</p>
今後の目標	<p>○色々な疾患や障がいがあり、医療的ケアを必要とするなど、ご家族にとっての「不安」や「悩み」など全ての困りごとに寄り添いながら、親子ともに、穏やかに安心して育児・生活が出来るようにサポートしていきたい。</p> <p>○保護者の「話を聞いてほしい」・「相談したい」等の訴えに対応できるように、ゆとりを持った人員配置や看護師等の専門職の安定的な確保に努めていきたい。</p> <p>○肢体不自由児や重症心身障がい児・医療的ケア児を積極的に受け入れている特徴を生かして、他市町村からの受け入れ依頼にも応えていきたい。</p>

5 市(所管課)による総合評価

総合評価（4段階評価）の基準		
A	(1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】 昨年度同様、タイムケア事業を実施。指定管理業務の利用児童の兄弟姉妹の受入れを主に行うことで、利用を必要としている児童の継続利用が実現している。</p> <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】 医療的ケアを必要とする児童の受入を積極的に行っていた。支援の困難な利用希望者が出た時も断るのではなく、どのように支援をすれば利用ができるかを検討し受け入れを行ってきた。 医療的ケアを必要とする児童のニーズは継続的なものなので、安定した受け入れ体制の確保が引き続き必要となる。</p> <p>【総合的な評価】 アンケート回答のうち「相談に対して速やかな対応があるか」「子どもは通所を楽しみにしているか」「今後も利用したいか」の項目で「はい」が100%となっており、利用児童及び保護者の満足度が高い状況であり、「質の高いサービスが提供されていた」と高く評価ができる。 医療的ケアを必要とする児童の利用ニーズが高いなかで、1年間を通して安定した看護師の確保が必要であるが、アンケート回答にもあったとおり困難な時期もみられた。しかし協力医療機関等との連携により必要な支援は確保できたので、来年度はより安定した看護師配置ができる体制を構築していく必要はある。</p>

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
76.6

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
良好

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和6年2月26日から令和6年3月15日
	調査対象	通所児童の保護者
	調査方法	アンケート用紙配布し、施設内の回収箱で回収。
調査結果	実施状況	通所児童の保護者22名に配布。 回答者16名（回収率72.7%）
		<p>○活動等のスペースは確保されているか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○職員の配置数や専門性は適切か はい87.5% いいえ12.5%</p> <p>○事業所の設備は整備されているか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○清潔で心地良く、活動に合わせた環境か はい82% どちらともいえない18%</p> <p>○ニーズや課題を踏まえた支援計画となっているか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○計画に具体的な課題や支援内容が設定されているか はい100%</p> <p>○支援計画に沿った支援が行われているか はい82% どちらともいえない18%</p> <p>○活動内容が工夫されているか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○地域との交流や関係機関との連携はあるか はい56.25% どちらともいえない18.75% いいえ12.5% わからない12.5%</p> <p>○運営規程、利用者負担等について丁寧な説明があったか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○支援計画、療育内容について丁寧な説明がされているか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○家族支援プログラムが行われているか はい87.5% どちらともいえない12.5%</p> <p>○児の発達状況や課題について職員と共通理解ができているか はい87.5% どちらともいえない12.5%</p> <p>○定期的に面談や助言等の支援が行われているか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○保護者同士の交流の機会や連携が支援されているか はい81.25% どちらともいえない6.25% いいえ12.5%</p> <p>○相談に対して速やかな対応があるか はい100%</p> <p>○職員との意思疎通、情報伝達への配慮はあるか はい91% いいえ9%</p> <p>○定期的に活動概要や行事予定、業務に関する自己評価が発信されているか はい81.25% どちらともいえない12.5% わからない6.25%</p> <p>○個人情報を守られているか はい100%</p> <p>○緊急時、防犯、感染症等の対応について周知・説明がされているか はい87.5% どちらともいえない12.5%</p> <p>○定期的に避難訓練が行われているか はい62.5% どちらともいえない25% わからない12.5%</p> <p>○子どもは通所を楽しみにしているか はい100%</p> <p>○事業所の支援に満足しているか はい93.75% どちらともいえない6.25%</p> <p>○単独通園はあった方が良かったか はい91% どちらともいえない9%</p> <p>○年間開園日数について 現状で良い100%</p> <p>○今後も利用したいか はい100%</p>
利用者からの意見 要望・苦情等		<p>○毎日、親子で楽しく通園させてもらっている。</p> <p>○困りごとなどがあると一緒にどうすればよいか考えてもらえた。</p> <p>○悩みや心配事をたくさん聞いてもらった。</p> <p>○就学に関してもたくさんのことを教えてもらい、サポートしてもらった。</p> <p>○子どもはしいのみ学園に行くことをとても楽しみにしていた。</p> <p>○提供される療育、保護者同士のつながりは、子どもにとっても、親にとっても救いになっている。</p> <p>○看護師が足りない。</p> <p>○電子データでの連絡帳などあれば、体調や成長過程の振り返りが容易になるのではと思う。</p> <p>○保育園等としいのみ学園の並行利用を可能にするために課題や対策について、地域の保育園とも連携しながら一緒に考えてもらいたい。</p>